

年 号	町 の で き ご と	参 考 事 項
昭和36年 (1961)	<ul style="list-style-type: none"> ・只見線が国鉄に編入される。 ・只見中学校の円形校舎が建築される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大倉のサラサドウダンが県の天然記念物に指定される。
昭和38年 (1963)	<ul style="list-style-type: none"> ・只見高校が南会西部高校から独立する。 ・川口～只見間の国鉄が開通する。 ・明和・朝日・只見の農協が統合される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書が無償で配られるようになる。 ・このころ、町には研究会・愛好会・クラブなどがたくさんできて活躍する。 ・成法寺観音堂が国の重要文化財となる。
昭和39年 (1964)	<ul style="list-style-type: none"> ・完全給食が始まる。 ・叶津川がはんらんする。 ・明和小学校が新築される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックが東京で開かれる。 ・新潟地震がおきる。
昭和40年 (1965)	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK只見中継所ができる。 ・只見～仙台間に準急が通ようになる。 ・田植え機械が使われはじめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴ヶ城が再建される。
昭和41年 (1966)	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪のため国鉄只見線が3ヵ月間も運休する。 ・只見小学校の新しい校舎ができる。 ・夏、学生村が開かれるようになる (塩沢・石伏) 	<ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ・なめこの生産がふえる。
昭和42年 (1967)	<ul style="list-style-type: none"> ・熊倉集落が火事になり11世帯が焼ける。 ・福島テレビの中継所ができる。 ・只見駅前通りに「消雪道路」ができる。 ・雪上車が購入される。 	
昭和43年 (1968)	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪で交通がマヒし、自衛隊が出動する。 ・明治百年の記念行事が行なわれる。 ・町章が定められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便番号制度ができる。
昭和44年 (1969)	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨で、布沢川・蒲生川・野々沢などがはんらんして大きな被害をうける。 ・被害を受けた人たちが集団で引っ越す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アポロ11号が月に着陸する。
昭和45年 (1970)	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康センターができる。 ・只見の新町に温泉が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・磐梯ゴールドラインが開通する。
昭和46年 (1971)	<ul style="list-style-type: none"> ・国鉄只見線が開通する。 ・只見総合開発センターが完成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この年の積雪は104センチと少ない。
昭和47年 (1972)	<ul style="list-style-type: none"> ・河井記念館がオープンする。 ・只見スキー場のリフトができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック冬季大会が札幌でひらかれる。 ・五十嵐家が国の重要文化財になる。